

2021年10月

吉井啓太

ロータリー月例報告 Vol. 15

留学先：ロンドン公衆衛生・熱帯医学大学院 (LSHTM)

授業が本格化し、予習と聴講、質問に忙しい毎日を送っています。
内容はゴリゴリの専門的な内容で、たまにディスカッションについていけなくなりますが、その時は友人にフォローを依頼するなどなんとかついて行けていると思います。

それ以上に1年しかないため最終の課題研究のテーマ出しやその後の就職先の選定、アプリも急ピッチで進めています。友人にCV添削を依頼したり、キャリアセミナーに出たり興味のある業界の検索など、時間が想像以上に足りません。
何とか捻出するしかありませんが、博士論文もあり、自分のメンタルケアもあり、観光だっただけでいいし、どうやら暇という言葉とは無縁の大学生活となりそうです。

11月からは対面になるので、よりアクティブな参加やキャンパスライフが送れそうです。

また現地ロータリークラブの活動に参加してきました。

10月中旬にロンドンから南に1時間半ほど下った港町、イーストボーンにてロンドンのロータリークラブ合同でミーティングが催行されました。

受け入れ先のEnfield Chaseクラブにあいさつすること、また横のつながりのため、喜んで参加しました。

講演もロータリークラブの活動だけでなく、著名なラジオDJの方に学ぶリーダーシップや英国ロックバンドのライブ、ロータリーの人と話すカジュアル交流会など多様性に富み、全く飽きないまま終わりました。

その後Enfield Chaseのクラブミーティングにも参加しました。

ロンドン近郊の教会で早朝、10人程度のメンバーが朝食を食べながらゲストの話聞いていました。

早朝ということもあってかなり早起きでしたが、新鮮な空気を楽しめて交流を深められ、良かったと思います！

今月の写真はロータリークラブミーティングより。

(左) ホストクラブのメンバーの方々と奨学生。彼は米国からLSHTMで栄養学を勉強中。

(中) ミーティングの様子。かわるがわるの人が登壇されていました。

(右) Eastbourne近郊のSeven Sisters。手つかずの自然が美しいです。

